月　日　名前　　　　／100点

【答え】

【小3】国語 文章問題 説明文 5

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

「つかったものは、もとの場所にもどしましょう。」と言われても、なかなかかたづけられないことがあります。じつは、かたづけやすい部屋には、ひみつがあります。

一つ目は、ものをしまう場所を、つかう場所の近くにすることです。はさみを遠い引き出しにしまっていると、つかったあと、もどしに行くのがめんどうになって、つくえの上においたままになってしまいます。つかう場所のすぐそばにしまえば、もどすのはかんたんです。

二つ目は、同じなかまのものを、まとめてしまうことです。えんぴつ、けしゴム、ものさしを一つの入れものに入れておけば、「えんぴつはどこだろう」とさがす時間がなくなります。

三つ目は、しまう場所に名前をつけることです。入れものに「のり・テープ」と書いたシールをはっておくと、家族のだれが見ても、どこにもどせばよいかがすぐに分かります。

かたづけがにがてなのは、その人のせいかくのせいだけではありません。しまう場所がつかいにくいと、だれでもかたづけられなくなるのです。まずは、自分のつくえの中を見なおしてみましょう。

（この問題のための書き下ろし）

問一　一つ目のひみつは何ですか。本文から二十五字までで書きぬきましょう。

ものをしまう場所を、つかう場所の近くにすること

問二　はさみを遠い引き出しにしまっていると、どうなりやすいですか。いちばんあうものを、ア〜ウから一つえらびましょう。

ア　もどしに行くのがめんどうになって、つくえの上においたままになる。

イ　はさみがすぐに見つかって、とてもべんりになる。

ウ　家族のだれも、はさみをつかわなくなる。

ア

問三　同じなかまのものをまとめてしまうと、何がなくなりますか。本文から十字までで書きぬきましょう。

さがす時間

問四　筆者は、かたづけがにがてなのは、なぜだと考えていますか。三十五字までで書きましょう。

その人のせいかくのせいだけでなく、しまう場所がつかいにくいから。

free-print.net　|　文章・問題は free-print の書き下ろし　|　学校・塾での印刷・配布は自由です

【小3】国語 文章問題　説明文 5　答えと解説

問一（二十五点）　答え：ものをしまう場所を、つかう場所の近くにすること

解説：二つ目のまとまりのはじめの文から。

問二（二十五点）　答え：ア

解説：二つ目のまとまりから。イ・ウは本文に書かれていない。

問三（二十五点）　答え：さがす時間

解説：三つ目のまとまりの「『えんぴつはどこだろう』とさがす時間がなくなります」から。

問四（二十五点）　答えの例：その人のせいかくのせいだけでなく、しまう場所がつかいにくいから。

解説：五つ目のまとまりから。「だれでもかたづけられなくなる」とあり、場所の工夫でかわると筆者は考えている。

採点のポイント：① せいかくのせいだけではない　② しまう場所がつかいにくい（二つそろって満点、一つなら半分）